NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞に親しもう

2．学校名

東京都文京区立誠之小学校

3．実践者名（代表者名）

川嶋美武

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　37人

6．単元（本時の学習課題）名

地域を愛でるお祭りに参加しよう「つつじ祭り」

7．目標（狙い）

文京区広報紙を活用して新聞に興味をもち、段階をふんで新聞の構成を学び、それを生かして学習のまとめを新聞形式で行う。

8．評価の視点

・新聞に興味をもつことができたか。
・新聞構成を活用して学習のまとめを行うことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

・地域を愛でるお祭りに参加しよう「あじさい祭り」
・地域の自然に親しもう「小石川植物園」「不忍池での野鳥観察」

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

（全8時間扱い）
・新聞について事前アンケートをとる
①「文京区広報紙」をもとにして学習問題をたてる。（1時間）
※留意点自分たちが知っている新聞について意見を出し合う。
※児童一人一人に文京区報を配布し、記事の中から「お祭り」に関する記事を見つけさせる。
※指導者が新聞に載っている記事を読み、児童のお祭りに対する興味をもたせる。
②新聞の作り方の基本的な方法を知る。（2時間）
※在京5紙の中から2つを選び、比較しながら同じ部分を見つけ、基本的な新聞構成を知る。
※昨年度の児童が作成した新聞を見せ、やる気をもたせる。
③新聞の作り方の発展的な方法を知り、新聞形式でまとめる。（2時間）
※新聞の4コマ漫画をもとに、読み手に新聞を楽しませる工夫を見つけさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

アンケートをとり、3年生では文字を追うのではなく、絵や漫画を目で追っていくのが分かっていた。最初は文字を追っていくのは難しいと感じていたが、新聞構成を実際の新聞を使って学習していくことで、新聞自体に興味をもつことができた。また、作成した新聞をためていき、最後に比較することを行ったので、子ども達は自分の成長を確かめることができたと喜んでいた。

12．成果と課題

3年生であり、しかも1学期では新聞から好きな記事を見つけることすら難しく、担任が指導することが多い。その中で、授業の中で児童が住んでいる文京区が発行している新聞を提示したことで児童は興味をもって活動に取り組むことができた。また、新聞構成を教えることで今後、社会科などで学習のまとめを新聞形式で行わせる場合に役立つ。課題としては、8時間扱いの中で3時間程度しか新聞にふれさせることができなかったので、児童の実態をふまえ、単元の指導計画を立てる段階でもう少し新聞を使った学習を行うようにするべきであった。